

明治大学校友会福岡地域支部の皆さん、こんにちは。

9月1日に明大校友会福岡地域支部の総会が開かれるのを機に、皆さんへ感謝の意と現況をお伝えさせて頂きたく存じます。

2月6日、台湾花蓮で起きた地震により、私と家内が居住していたマンションは倒壊し、皆さんのお陰をもちまして、運よく無事に救出されました。その後、先輩達等各方面から、私の安否を気遣うお問い合わせが舞い込んで来ました。特に福岡県の明大校友会の先輩達にはご心配頂いた上に、私へのお見舞金を募ることを呼びかけてくださったとお聞きしました。皆さんの被災者にお力添えするご厚意をより有意義なものにできればという考えから、お見舞金を一括で花蓮県庁に寄付されることを提言させて頂きました。皆さんのご寄付により、救援活動を担当する県庁や被災者の方々も大いに感謝していると信じております、ご理解ご寛恕のほどよろしくお願い申し上げます。

借り住まいで暮らすようになって半年経った今、元の生活に戻り、日本語の授業も続けているものの、環境の変化に対応することが多くなったためか、体調に気を付ける必要があることを実感するようになりました。

皆さんからの心暖かいご声援は私にとって大きな慰めになっております、改めて心より感謝申し上げます。今後ともご指導の程宜しくお願い致します。

元台湾駐福岡事務所総領事  
周 碩穎 (S50 院)

2018.08